

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-73379 (P2004-73379A)  
 【公開日】平成 16 年 3 月 11 日 (2004.3.11)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-010  
 【出願番号】特願 2002-235823 (P2002-235823)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/055

A 6 1 B 6/03

G 0 1 R 33/54

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 0

A 6 1 B 6/03 3 6 0 D

A 6 1 B 6/03 3 6 0 P

G 0 1 N 24/02 5 3 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 26 日 (2005.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体内の診断部位を含む撮像範囲で得られた複数の断面における画像を表示する方法において、

前記複数の断面の内、任意の断面における表示画像上に、三次元 R O I を設定するステップと、

前記複数の断面の内、前記任意の断面のほか、指定された断面における表示画像上に前記三次元 R O I と交差する領域を表示するステップとを備えたことを特徴とする画像領域指定支援方法。

【請求項 2】

前記複数の断面の中から前記三次元 R O I と交差する断面を全て検索し、その検索された当該断面における画像を当該三次元 R O I との交差領域と共に表示するステップをさらに備える請求項 1 記載の画像領域指定支援方法。

【請求項 3】

前記複数の断面は、それぞれ異なる方向の断面であることを特徴とする請求項 1 記載の画像領域指定支援方法。

【請求項 4】

前記複数の断面は、それぞれ同一方向の異なる位置の断面であることを特徴とする請求項 1 記載の画像領域指定支援方法。

【請求項 5】

被検体内の診断部位を含む撮像範囲で得られた複数の断面における画像を表示する方法において、

前記複数の断面の内、任意の断面における表示画像上に、三次元 R O I を設定するステップと、

前記複数の断面の中から前記三次元 R O I と交差する断面を全て検索し、その検索され

た当該断面における画像を前記三次元ＲＯＩとの交差領域と共に表示するステップとを備えることを特徴とする画像領域指定支援方法。

【請求項 6】

被検体内の診断部位を含む撮像範囲で得られた複数の断面における画像を表示する処理手段を有する医用画像診断装置において、

前記処理手段は、

前記複数の断面の内、任意の断面における表示画像上に、三次元ＲＯＩを設定する手段と、

前記複数の断面の内、前記任意の断面のほか指定された断面における表示画像上で、前記三次元ＲＯＩと交差する領域を表示する手段とを備えたことを特徴とする医用画像診断装置。

【請求項 7】

前記処理手段は、前記複数の断面の中から前記三次元ＲＯＩと交差する断面を全て検索し、その検索された当該断面における画像を前記三次元ＲＯＩとの交差領域と共に表示する手段をさらに備えた請求項 6 記載の医用画像診断装置。

【請求項 8】

被検体内の診断部位を含む撮像範囲で得られた複数の断面における画像を表示する処理手段を有する医用画像診断装置において、

前記処理手段は、

前記複数の断面の内、任意の断面における画像上の目標とする画像領域に、三次元ＲＯＩを設定する手段と、

前記複数の断面の中から前記三次元ＲＯＩと交差する断面を全て検索し、その検索された当該断面における画像を前記三次元ＲＯＩとの交差領域と共に表示する手段とを備えることを特徴とする医用画像診断装置。

【請求項 9】

前記複数の断面は、ＭＲＩ装置で得られた複数の撮像断面を含む請求項 6 から 8 のいずれか 1 項記載の医用画像診断装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明に係る画像領域指定支援方法は、被検体内の診断部位を含む撮像範囲で得られた複数の断面における画像を表示する方法において、前記複数の断面の内、任意の断面における表示画像上に、三次元ＲＯＩを設定するステップと、前記複数の断面の内、前記任意の断面のほか、指定された断面における表示画像上に前記三次元ＲＯＩと交差する領域を表示するステップとを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明において、好適には、前記複数の断面の中から前記三次元ＲＯＩと交差する断面を全て検索し、その検索された当該断面における画像を当該三次元ＲＯＩとの交差領域と共に表示するステップをさらに備えており、また、前記複数の断面は、それぞれ異なる方向の断面であり、さらに、前記複数の断面は、それぞれ同一方向の異なる位置の断面である画像領域指定支援方法である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明に係る画像領域指定支援方法は、被検体内の診断部位を含む撮像範囲で得られた複数の断面における画像を表示する方法において、記複数の断面の内、任意の断面における表示画像上に、三次元ROIを設定するステップと、前記複数の断面の中から前記三次元ROIと交差する断面を全て検索し、その検索された当該断面における画像を前記三次元ROIとの交差領域と共に表示するステップとを備えることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

さらに、本発明に係る医用画像診断装置は、被検体内の診断部位を含む撮像範囲で得られた複数の断面における画像を表示する処理手段を有する医用画像診断装置において、前記処理手段は、前記複数の断面の内、任意の断面における表示画像上に、三次元ROIを設定する手段と、前記複数の断面の内、前記任意の断面のほか指定された断面における表示画像上で、前記三次元ROIと交差する領域を表示する手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明に係る医用画像診断装置は、好適には、前記処理手段は、前記複数の断面の中から前記三次元ROIと交差する断面を全て検索し、その検索された当該断面における画像を前記三次元ROIとの交差領域と共に表示する手段をさらに備えている。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明に係る医用画像診断装置は、被検体内の診断部位を含む撮像範囲で得られた複数の断面における画像を表示する処理手段を有する医用画像診断装置において、前記処理手段は、前記複数の断面の内、任意の断面における画像上の目標とする画像領域に、三次元ROIを設定する手段と、前記複数の断面の中から前記三次元ROIと交差する断面を全て検索し、その検索された当該断面における画像を前記三次元ROIとの交差領域と共に表示する手段とを備えることを特徴とする。